

財務諸表

第38期 株式会社海部清掃

自令和4年7月1日
至令和5年6月30日
(単位：百万円)

貸借対照表		科目		金額	
科目	金額	科目	金額	科目	金額
【資産の部】			【負債の部】		
流動資産	4,206	流動負債	219		
固定資産	2,016	固定負債	0		
有形固定資産	1,987	負債合計	219		
無形固定資産		【純試算の部】			
投資その他の資産	27	株主資本	6,003		
繰越資産	0	資本金	10		
資本剰余金	0	利益剰余金	5,993		
		純資産合計	6,003		
資産合計	6,222	負債・純資産合計	6,222		

繰越資産及び資本剰余金については計上なしのため、貸借対照表に記載なし。

損益計算書

科目	金額
売上高	2,113
売上原価	9
売上総利益	2,104
販売費及び一般管理費	1,244
営業利益	860
営業外収益	3
経常利益	863
特別利益	
税引前当期純利益	863
法人税住民税等	284
当期純利益	579

株主資本等変動計算書

株主資本	当期首残高	当期変動額	当期純利益	当期変動額合計	当期末残高
資本金	10				10
資本準備金					
他資本剰余金					
利益準備金	2				2
他利益剰余金	5,414		579	579	5,993
株主資本合計	5,424		579	579	6,003
純資産合計	5,424		579	579	6,003

個別注記表

- I. この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成
- II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記
 - 1 資産の評価基準及び評価方法
棚卸資産の評価基準及び評価方法 最終仕入原価法を採用
 - 2 固定資産の減価償却の方法
①有形固定資産・・・建物に定額法、建物以外は定率法 ②無形固定資産・・・定額法
 - 3 引当金の計上基準
貸倒引当金
債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権について法人法税の規定による法定繰入率により計上
 - 4 収益及び費用の計上基準 収益は実現主義、費用は発生主義
 - 5 その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項
消費税等の会計処理は、税抜方式で計上
- III. 株主資本等変動計算書に関する注記
当事業年度の末日における発行済株式の数 200株